

PICK UP MOVIE

『三姉妹』

[2020年／韓国／韓国語／115分]

監督・脚本：イ・スンウォン 製作：キム・サンス、ムン・ソリ 音楽：パク・キホン 出演：ムン・ソリ、キム・ソニョン、チャン・ユンジュ、チョ・ハンチョル

家父長制に 立ち向かった娘たち



ソウルに住む三姉妹。それぞれの日々の生活の断片が、速いテンポで次から次へと映し出されていく。そこからじわじわと伝わってくるものがある。どこかギクシャクした、張り詰めた感じ。これはいったい何なのだろう。

主人公のミョンは三姉妹の次女。熱心に教会に通い聖歌隊の指揮をする模範的なクリスチャンだ。高級マンションに居を構え、裕福で幸せそうだが彼女の、家族や教会仲間に対する支配的なふるまいは、ちょっと度が過ぎてはいないか。

ミョンに訳の分からぬ電話をかけてくるのは、三女のみオクだ。脚本家だがなかなか原稿が書けず、ヤケ酒をあおる。だがどうやら彼女の真の気がかりは、子供時代のある記憶であるらしい。

ミョンが母からの電話で心配になり、久しぶりに会いに行ったのは長女ヒスクだ。彼女はしがたない花屋を営んでいる。離婚した夫に金をせびられ、パンクバンドに夢中な娘に当たり散らされても、気弱な笑みを浮かべて日々をやり過ごしている。

生活ぶりも性格もさまざまな三人が、うちそろって父親の誕生会に出掛ける。ところが豪華な祝い場で、姉妹の弟ジンソプが大騒動を起こした。それを引き金に、父親に向かって怒りを爆発させたのは、いつも上品な風情の次女ミョンだ。厳格な家父長制の下、父親は家族を威圧し暴力を振るった。自分たちは、そのためにどれほど傷ついたことか。

父親という大きな権威に、初めて正面から立ち向かった三姉妹。そのあとの晴れやかな笑顔がとてもいい。彼女たちが生きていく社会には、相も変わらずたくさん問題があることだろう。それでも力一杯、新しい世界へと扉を押し開けたことは確かだ。

主人公を演じたムン・ソリは、この作品のプロデュースをも引き受け、作品の完成に尽力した。その理由をこう語っている。「次世代のために、暴力的だった時代に別れを告げたかった」。またひとつ、韓国から心に沁みる女性たちの物語が生まれた。